

2023 年度春季大会 開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2023 年 5 月 27 日（土）・28 日（日）

会場：オンライン開催

公益社団法人「日本語教育学会」では、最新の研究と実践の成果を発信・共有し、参加者間の交流およびネットワーキングの促進を目的とした大会を年 2 回（春・秋）開催しています。コロナ禍のなかで 2020 年秋季大会以降は全面オンライン開催となりましたが、今後は春季大会をオンラインで、秋季大会は対面で開催することが決定しています。これにより、日本国内外にいる多様な立場や状況の参加者に対し、より柔軟な参加機会を提供できることが期待されます。

2023 年度春季大会は昨年度に続き、全面的にオンラインで開催されました。有料イベントへの事前参加登録者は 849 名（招待・関係者含む）で、44 都道府県および世界の 12 の国・地域からの参加がありました。大会期間中は、パネルセッション 2 件、口頭発表 27 件、ポスター発表 20 件が、審査・運営協力員の協力を得て行われました。詳細は[大会プログラム](#)および[発表要旨](#)をご参照ください。また、大会終了後も学会ホームページの[「マイページ」](#)から大会予稿集をご購入いただけます。



パネルセッション・口頭発表・ポスター発表のほかに、大会の 1 日目には、一般公開プログラム「境界の外側から見える日本語教育学—異なる専門分野から見えてくるもの—」が開催され、各分野の専門家による話題提供と同時に遠隔手話通訳が提供されました（調査研究推進委員会）。また、「日本語教育研究・実践ネットワーク (Net-J) 学会・研究会紹介ブース」（学会連携委員会）、「わかばさんいらっしゃい」（チャレンジ支援委員会）の時間が設けられ、賛助団体会員による出展ブースの展示もありました。続いて 2 日目には、事前申込者を対象とした「ぷらさ da わかば」（チャレンジ支援委員会）が行われ、オンライン大会における新たな試みとして「交流の部屋」が 2 回実施されました。参加者同士が自由に懇談できる機会として有効活用していただければと考えています。

今大会のテーマは〈日本語教育学の「これまで」を振り返り、「これから」を指し示す〉でしたが、大会委員会としましても、これまでの経験とノウハウを活かし、これからの社会的諸状況および日本国内外の多様なニーズに合致した大会運営を目指して大会開催における企画・運営を担ってまいります。

次回の[秋季大会](#)は、2023 年 11 月 25 日（土）・26 日（日）に、山形市にて対面で開催の予定です。

（文責：大会委員会）